

ラウラ・チンチージャ・ミランダ コスタリカ大統領 略歴
Su Excelencia Señora Laura CHINCHILLA Miranda
Presidenta de la República de Costa Rica

1. 氏名

ラウラ・チンチージャ・ミランダ
(H. E. Mrs. Laura CHINCHILLA Miranda,
President of the Republic of Costa Rica)



2. 生年月日・出身地

1959年3月28日（52歳）。サンホセ生まれ。

3. 学歴

1981年 コスタリカ大学政治学学士
1989年 ジョージタウン大学 政治学修士（米国）

4. 職歴

1989年－1990年	国家企画・経済政策省顧問
1994年－1996年	内務公安次官
1996年－1998年	内務公安大臣
2002年5月－2006年5月	国会議員（国民解放党：PLN）
2006年5月－2008年10月	第一副大統領兼法務大臣
2009年6月	党内予備選においてPLN大統領候補に選出される
2010年2月	大統領選において得票率46.9%にて勝利
2010年5月8日	大統領に就任

5. 家族構成

夫君：ホセ・マリア・リコ・クエト
息子：ホセ・マリア・リコ・チンチージャ

6. 訪日歴

なし。

7. 趣味

読書（ジャンルは、治安などの社会問題や歴史小説を好む）。
家族及び友人と過ごすこと。ウォーキング。テクノロジーに対する関心が高い。

8. 使用言語

スペイン語（母国語）、英語。

9. 横顔

- （1）専門は政治学（司法・警察制度改革及び治安対策）。
- （2）父親は元会計検査院長（1972－1987年）のラファエル・アンヘル・チンチージャ氏。
- （3）当国では初めて女性として内務公安大臣を務め、2002年大統領選挙においては、ロランド・アラヤ国民解放党（PLN）大統領候補の選挙キャンペーン参謀として活躍。国会議員に当選し、自らの専門分野である司法改革、治安問題、通商、青少年問題に積極的に取り組んだ。
- （4）当国史上初の女性大統領であるが、自らは女性であることを前面に出すことはせず、率直さ、誠実さ、汚職対策や治安問題に対する毅然とした態度など、力強いリーダーのイメージをアピールしている。その率直な人柄から、国民からの人気は高い。